

第1回 島田市第一小学校校舎等建設委員会 会議録

- ・教育部長のあいさつの後、委員等の自己紹介を行った。
- ・委員長は中野委員。副委員長は斎藤委員が選出された。
- ・検討委員会の公開、傍聴、専門知識を有する者の出席について委員会内での了承を得る。
- ・基本事項（①検討委員会立ち上げの目的、②施設規模の考え方について③島田第一小学校の建設事業概要）及び④配置計画、スケジュール(案)について事務局から複数案を説明後、委員が④の配置計画、スケジュール案を選定した。

(1)基本事項について

①検討委員会の立ち上げの目的（別紙2「島田第一小学校校舎等建設検討委員会」）

- ・島田第一小学校（以下、島一小）校舎は築40年が経過し施設の老朽化が進行している。
- ・令和6年度に島一小、伊太小学校、神座小学校、相賀小学校、伊久美小学校の5校が統合するため、児童数の増加が見込まれる。
- ・委員の皆様には、様々な目線から島一小の改築について意見をいただきたい。

②施設規模の考え方について（別紙3「施設規模の考え方について」）

- ・現在の主な施設 校舎（鉄筋コンクリート造3階建、面積5,472㎡）、体育館（鉄骨造1階建て、面積838㎡）
- ・令和6年度に統合により、1学年4クラス、1～6年全学年で24クラスとなる。特別支援教室は3クラスを想定している。
- ・児童数見込みの表は、1～4年は地域の出生数を元に出した数字であり、5・6年は現在の児童実数となる。
- ・令和8年まで児童数の推移を想定すると、少子高齢化により将来的には減少する傾向があることから、統合時の令和6年が最大児童数となる。そのため、建設計画の施設規模としては令和6年の児童数を基準に計画する。
- ・文科省の基準により算定した面積から、校舎6,542㎡、体育館1,000㎡を元に計画していく。

③島田第一小学校校舎等建設事業計画概要（別紙4「島田第一小学校校舎等建設計画概要」）

- ・校舎 鉄筋コンクリート造3階建、面積約6,500㎡。
- ・屋内運動場 鉄骨造平屋建て、面積約1000㎡。
- ・放課後児童クラブ 木造平屋または2階建、面積約360㎡。児童クラブ人数は130人程度。
- ・外構設備 グラウンド排水設備、遊具、防球ネット、散水設備等の設置。
- ・その他 駐車場整備（65台～70台）、緑地帯整備、調整池等の整備。
- ・空調機の設置 普通教室は全室設置。特別教室についても設置を見込んでいる。
- ・スクールバス停留所 統合により、遠方から通う生徒が使用する。敷地東側に整備予定。
- ・通級教室の設置 校舎内に設置予定。

④配置計画・スケジュール(案)について

※図面の説明（別紙5～9「ローリング計画(案)」「全体工程表(案)」「比較表」）

A案 グラウンドに仮設校舎を設置→現在の校舎を解体→現在の位置に新校舎等を建設

B案 現在のグラウンドに新校舎等を建設→現在の校舎を解体

C案 仮設校舎を活用しながら順次解体・新設→現在の位置に新校舎等を建設

委員からは

- ・「体育館が2年使用できないのは、学校の児童にとって大きな負担となる。地域防災の観点からも体育館が使用できないのは大変困る」
- ・「工事中の車両は一方通行でお願いしたい。危険な石垣は撤去してほしい」
- ・「工事の安全確保を検討しなければいけない。バスロータリーから校舎が近いB案がよい」
- ・「B案は仮グラウンドの時期に災害が起きた時には、グラウンドに集まることができなくなる。体育館に全校生徒が集まることは可能か」との意見を受けた。

事務局は「周辺道路の整備を予定していて、石垣も改修方法を検討する。工事中の安全確保は通学時間と工事の車両搬入時間をずらす等児童の安全確保は徹底して行う。」

と回答した。

また学校からは「工事中グラウンドを使用したい場合は隣接する島田第一中学校の協力を得ようと考えている」との意見があった。

※委員から様々な意見をいただいた後、最終的に配置計画、スケジュール案は「B案」を採用することを決定した。

(2) 次回以降検討の要旨について

- ・次回平面プランを決めていく。現状校舎の利便性や図書室の広さなど、様々な意見を参考に計画を進めていく予定。

【次回開催】11月6日（金）19:00～

島田第一中学校 多目的ホール